

免許状教科	中学校 1 種 (社会)・高等学校 1 種 (地理歴史・公民・商業)			
科目名	心身の発達と学習	科目分類	教職科目	
			経済学科	■必修 □選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Mental/physical development and learning	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
ふりがな	みつだ もとお	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	光田 基郎	修得単位	2単位	
		実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	思春期までの知性と人格の発達に注目し、人格—行動—学習の連鎖の形で展開する乳児期、幼児期、学童期と思春期のそれぞれの発達段階で直面する課題を理解する。DVD と心理査定の実技も併用して母子関係、非行、不登校と拒食、障害児教育などの課題への対処を理解する。次に学習では子育て、学校教育、キャリア選択と就職等を概説する。社会人の生き方 (take and give の人は未熟で褒められて舞い上がるゆえ、give and take が理想) の理解と、カウンセリングや心理査定など教育現場に必要な技法を学ぶ。教員の必要条件是バランス感覚 (個性と平等、職務と自分の感情、理想と現実などの平衡と理解し、秩序を守れない子が妙に素直なら何故? と疑問に思う気持ちを抑えたら真実を見失う) と理解する。			
到達目標	ネットの indeed に掲載された様に、教職以外でも人を指導する仕事での求人は多いから、経理や営業一筋などと考えずに、将来の可能性を増やす気で教員免許も得ると自信にもつながる筈。その基本を学ぶ。			
授業概要	DVD, 電算画面の実験、調査と心理査定などの実技を多用した講義。毎週パワーポイント資料 10 コマ配布。			
授業計画				
第1回	乳児期の発達課題は無条件の依存を経験し、自分が母親か保育士にアピールすれば満足を与えられるとの信頼感と自己効力感獲得である。乳児は母親の声や視線を通じて愛情を感じる事が人間関係の基本と知る。逆に無視された無力感、自他への不信感について、親と離して育てたサル の DVD や大人不信の育ち方の非行児の例で学ぶ。			
第2回	乳児期の信頼感と自己肯定感の上に保護者、保育士や友人との関係で経験したよい経験、嫌な経験をうまく結び付けて信頼と自己肯定感を鍛えることが課題。その自己主張と他人を意識した自己抑制の平衡が幼児期の課題であり、そのための4歳児の喧嘩は必修科目と講述し、自己像の評定である交流分析テストで自己評定を実施する。			
第3回	学童期の課題は劣等感と自尊心の平衡。ドラえもんのジャイアン同様にわがまま—劣等感—自己顕示欲—暴力、しずかちゃんの良い子ゆえの世間知らずで衝動への常識的対処不能で不全感と羞恥心過剰。独立欲求から悪人と連帯して家族を拒否、不登校、成人女性への変身拒否の拒食と知る。ドラえもんのび太と逆に強情—恥意識—独立欲求—健全な批判が健常で、ドラえもんの登場人物全員が現在の学童の課題の誇張ゆえに漫画になる現状を知る。			
第4回	思春期は明治維新と同様、内 (侍の経済から豪商の資本主義=性的成熟に対応) 外 (黒船が外交を迫り、国のイメージ明確化が必要=自分の将来像を考えて他人に対応する必要性) の変化に耐えて自分は何者か、どんな自分が理想かを具体的に理解して自己像 (過去、現在と未来を統合した自分のイメージ) 実現努力を迫られる。どの国も内外の混乱後に近代化する様に、この時期を乗り切り方で性格が決定。自己同一性検査実技で自分を知る			
第5回	思春期の子は「自分自身を見る」立場を失い「見られる自分」に振り回される。「見る自分」が「見られる自分」を制御出来れば主体性は保てる。「見られる恐れ」に支配され、周囲の雰囲気は先取りは過激ないじめになる。非行少年の弱い自己像、言葉で衝動制御不能な状態を例示する。ニートの DVD とカウンセリング実技をも併用する			
第6回	学童と思春期の課題としての家族: 家族は相互作用システムであり、その人間関係は社会一般の人間関係と共通であるのが普通。DVD と描画テストを併用して家族画や風景画に投影された自己像を理解する方法を学ぶ。			
第7回	カラスが食物を得る動機で漁港交差点を手掛かりに、信号停車のトラックの魚を盗む習慣が出来て空腹と言う要求を低減する過程も学習の一例。DVD と電算画面上の実験を併用して学習転移、人格—行動—学習の連鎖を理解する			
第8回	刺激—反応の連合による学習を考える連合説、認知構造の変化を説明する認知説の各々を基礎に、スポーツや教科学習の過程を DVD で学び、以前の学習が後の学習に影響する転移の実験で、鏡を見てメイクする習慣のある女性は電算画面上で上下が逆転する鏡映像描写の技能習得が男性より早い傾向から学習の転移を理解する。			
第9回	記憶は知識と要求に従って過去の経験を再現する機能であることを数人 1 組の伝言ゲームや目撃証言の変容例での実験を通して理解する。記憶の上手下手は知識構造への組み入れ (記銘操作) と検索過程の巧緻化次第と理解して、記銘すべき情報を一時的に保持しながら (短期記憶) 構造化・図式化するための条件 (知識構造を用いた意味付けと類推) とその作業台 (作業記憶) の効率的運用 (情報の圧縮、分割して学習) の必要性を考える。			
第10回	思考の上手下手。認知—判断—反応の連鎖なしに「頑張ります」では暴走か人の言いなりと信用されない理由は?			

第11回	知能と創造性, 知的発達障害, 多動障害の支援をDVD を用いて概説する。わずかの情報から多方面にアイデアを展開する創造性(基本は拡散的思考)と知能の差, 逆に唯一の答えを求める集中的思考と創造性の差などを概説し、知能や学力測定と統計的処理の基礎 (http://kogolab.chillout.jp/elearn/hamburger) など自習教材で実技予定。
第12回	課題解決における知識利用の促進である類推について。源義経, 補佐役に徹した豊臣秀吉の弟, 室町幕府のマネージャーでも兄の側近と衝突して滅びた足利尊氏の弟などの説明文から「組織の副将は今の首領と一体化して次の首領の気配を消さねば減ぶ」と類推、「源義経は英雄でも上記のダブルエラー」と理解する技能の重要性を知る。
第13回	思考意欲の発達と無気力: (1) DVD と TAT 図版を用いた達成動機(やる気)の測定を通じて, 生理/心理的要求が具体的な達成行動を動機付ける事, 失敗への対処次第で無力感を得る危険性を理解する。統計実技も実施予定。
第14回	集団思考への参加とその意欲の発達: 4-5 人の集団で課題達成する実験を通じて職場や生徒集団のリーダーは課題達成(performance)と集団維持(maintenance)能力が問われる事を理解する。リーダーの条件をも考える。
第15回	アクティブラーニング(学習者参加型): 問題共有と動機付け(雄物川上流に江戸時代の大坂堺の墓石多数発見の理由は?)→本題(拡散・混沌→収束: 北前船の揺れ止め重石だ)→気付き(コメ本位の侍の経済から紅花, 木材と銅などの特産品を都会に運んで大量に売買する商人主導の資本主義への移行)と具体的に理解する方法は?
第16回	定期試験: 教育やスポーツの指導者が直面した事例を出題し、具体的に考えて答えを論述する課題を予定。
授業時間外の学習	教員への道は険しいが、日頃の努力とネットの例題(skyosai.comや各府県教委のHP)活用次第で希望は持てます。聖霊短大卒で努力を重ねた者の教員合格も臨床心理士も見ました。心身の健康と意欲が決め手。
履修条件 受講のルール	特にありません。実技には他の受講生と協力しながら積極的に参加して、他人の自尊心を尊重する態度も実習しよう。対処の例:「銀行は他の子よりあなたを選んだのに、修道女に暴言ではあなたに期待した当方も銀行の人も困る筈。X先生に謝れ」(短大礼拝堂で褒めて叱って期待するぞ)のサンドイッチ型叱り方。
テキスト	使いません。毎週、パワーポイント10コマ程度のプリントを配布します。すき間時間にスマホ画面や新書版、文庫本から学校教育について具体的に学んで勉強すれば必ず能力も意欲も高められる。
参考文献・資料	適宜、指示します。「ハイスクール落書」(朝日文庫、農業高の例)や「犬がいた季節」(双葉社、普通高の生徒の成人過程を迷い犬の視点で描写)など、教育現場の実情を書いた本を紹介します。女性教員の生活については http://maries.air-nifty.com/ が詳しい。30年以上連載。1900年代に未婚の若手女性教員のHPとして徳島大教職授業で紹介したら、これを見て教員を志して徳島県教員になった女性も今は還暦。
成績評価の方法	出席、実技参加態度と論述式定期試験。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。大学への納付金の減免や奨学金については教務課やゼミ教員に相談すればよい。
オフィスアワー	火曜日は朝から最終のスクールバスで帰宅まで、授業以外は6F研究室在室予定。
成績評価の基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)
学生へのメッセージ	ネット上のindeedなど学校以外での指導の職での求人は増えています。スポーツ、営業や技術一筋などの将来像より複数の可能性を考えれば意欲も向上。他大学2部在学の運転手や元力士で教員希望者も見た。